

回路用人工鼻

再使用禁止

【警告】

〈適用対象（患者）〉

- 1) 小児に本品を使用する場合は、細心の注意を払うこと〔部品を取り外してしまったり、飲み込んだり吸い込んでしまった場合、有害であるため〕。

〈併用医療機器〉

- 1) 人工呼吸器の圧は常に監視すること。呼気圧及び吸気圧が上昇した場合は、直ちに本品を交換すること〔エレメントが目詰まりしているため〕。

〈使用方法〉

- 1) 分泌物が溜まったり、エレメントが目詰まりを起こしたときは直ちに本品を交換すること。どのような状況においても、詰まりを取り除こうとしないこと〔本品を使用中に、患者が分泌物過多、肺水腫、出血等を引き起こした場合、エレメントの目詰まりにより、流量抵抗が上昇、閉塞あるいは感染の可能性がある。又、人工呼吸器との併用においては、呼吸回路に外れが生じた場合、低圧警報が作動しない可能性がある。詰まりを取り除こうとすると、エレメントの損傷や閉塞等により、患者の換気を妨げる原因となるため〕。

【禁忌・禁止】

再使用禁止

〈適用対象（患者）〉

- 1) 気道や肺からの分泌物過多の患者〔流量抵抗が上昇、あるいは閉塞する可能性がある。又、人工呼吸器と併用した際に、呼吸回路が外れた場合、低圧警報が作動しない可能性があるため〕。
- 2) 【形状・構造及び原理等】に記載される推奨一回換気量の範囲外の一換気量の患者。
- 3) 自発呼吸はあるが、一回換気量が小さい、あるいはCO₂貯留傾向にある等の理由で人工呼吸器からのウィーニングが難しい患者。

〈併用医療機器〉

- 1) ネブライザと併用しないこと〔併用すると人工鼻が目詰まりを起こし、患者が呼吸困難を起こすことがあるため〕。
- 2) 加温加湿器と併用しないこと〔人工鼻のフィルタは、加温加湿器との併用により、閉塞し、換気が困難となる恐れがあるため〕。

〈使用方法〉

- 1) エレメントに触れないこと〔エレメントの流量抵抗が変化してしまうため〕。

【形状・構造及び原理等】

〈形状・構造〉

002815 回路用人工鼻



本品は呼吸回路等に接続して使用する人工鼻である。患者の呼気の熱と水分を捕捉し、これらを利用して吸気ガスを加温、加湿する。

推奨一回換気量	>10mL
死腔量	3 mL

患者側接続部	15mm雌円すいコネクタ
機器側接続部	15mm雄円すいコネクタ
水分損失	7 mgH ₂ O/L未満（一回換気量50mL時）
圧力損失	90Pa（5 L/分時）
ガス漏れ	<0.1 mL/分
コンプライアンス	<1.0 mL/kPa

〈原理〉

本品のエレメントで患者の呼気時に捕捉した熱と水分を吸気時に放出することで、吸気ガスを加温加湿する。

〈原材料〉

エレメント：ポリウレタンフォーム（塩化カルシウム含浸）

・ 未滅菌

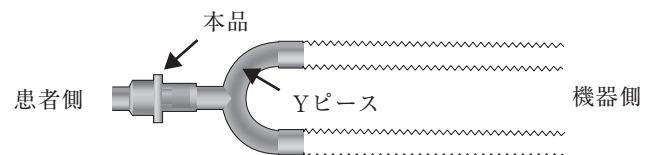
【使用目的又は効果】

〈使用目的〉

患者の人工気道に沿って接続した場合等に、患者の呼気の熱と水分を捕捉し、これらを利用して吸気ガスを加温、加湿する。

【使用方法等】

1. 本品を気管チューブ又は気管切開チューブと呼吸回路のYピースの間に接続します。



〈使用方法等に関連する使用上の注意〉

- 1) 装着前、本品内に閉塞や異物がないことを確認すること〔使用に支障をきたしたり機能不良になったりする恐れがあるため〕。
- 2) 使用中、水滴や分泌物が溜まっていないか定期的に確認すること。

【使用上の注意】

〈重要な基本的注意〉

- *1) 本品を使用する準備が整うまで開封しないこと〔汚染を防止するため〕。
- *2) ベンチレータのパラメータ設定時、追加される本品の死腔量も考慮すること。担当医が患者ごとに適正性、有効性を判断すること。
- 3) 本品は呼吸システムの患者接続ポートに直接接続し、患者に近い位置で使用する。
- 4) 使用前及び使用中には、本品と呼吸回路との接続が確実で、リーク及び閉塞がないことを確認すること。
- 5) 人工呼吸器の気道内圧アラームは常に作動するように設定すること。
- 6) 吸気圧の増大は、フィルタの閉塞の指標となる。
アラームが鳴った場合は、ただちにフィルタを交換すること。
- 7) 本品の使用によって、患者の呼気とほぼ同程度の加温加湿効果が得られるが、さらに高い加温加湿が必要な患者には、他の方法を選択すること。
- 8) 本品をバクテリアフィルタとして使用しないこと〔バクテリアフィルタとしての機能を有していないため〕。

〈その他の注意〉

- 1) 本品は、絶対に洗浄、滅菌、再使用しないこと [洗浄剤溶液でエレメントが濡れると呼吸抵抗が増加する、又有害な残留物を貯留させたり、感染性物質を伝播させる恐れがあるため]。

【保管方法及び有効期間等】

〈保管方法〉

本品を保管するときは次の事項に注意すること。

- ・水濡れ、高温多湿及び直射日光を避けて保管すること。
- ・化学薬品の保管場所やガスの発生する場所を避けて保管すること。
- ・保管時（運搬時も含む）は、過度な振動・衝撃等に注意すること。

〈使用期間〉

- ・最長24時間で交換すること。又、分泌物が溜まった時等、必要に応じて交換すること。

〈有効期間〉

- ・本品の包装に記載されている「有効期間」までに使用すること [自己認証（当社データ）による]。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

* 〈製造販売業者〉

smiths medical

スミスメディカル・ジャパン株式会社

<http://www.smiths-medical.com/jp/>

〈問合せ先〉

フリーダイヤル 0120-582-855

〈製造業者〉

スミス メディカル インターナショナル Ltd.

Smiths Medical International Ltd.

〈国名〉

英国